

遠くても、集合時間に遅れないことや三年生としての意識などで後輩たちに憧れられる、時間行動をしてきました。修学旅行では、班で協力して5分前行動などをして日常生活をいかした修学旅行にできました。後期にもこれを継続して、より良い時間行動を意識していきたいです。

(3年B組 浦山ほのかさん)

3年B組と言えば、体育大会の時の、青団団長吉川泰生さんの語りを思い出します。「優勝はできなかったけれど、優勝以上の価値を得ることができた」と語った吉川さん。学級の思いを1・2年に伝え、事前取組の姿を高めた青団、ハイタッチで互いを励まし合いたたえ合ったあの姿、そして、「僕たちは、『みんなでジャンプ』で結果を出せませんでした。大縄を回している時に、背中で聞いたみなさんの応援歌は、一生忘れません」と語ったあの言葉。

また、1・2年生に期待していることも話していました。

「一つ目は、憧れをもってもらえる先輩でいてほしいということ。3年B組が事前取組で5を取り続けていなかったら、あの時僕は、みなさんに厳しいことを言えなかったと思います。思いをもつだけでなく、結果も出してこそ後輩はあこがれると思います。二つ目は、体育大会の取組を通して手に入れた青団の温かさを持ち続け、来年も継承していってほしいということです。青団で過ごした皆さんへのお願いです。体育大会での取組を日常につなげてこそ、本物の勝者です。青団に優勝旗はないですが、これから、本物の勝者であることを、日常で証明していきましょう。

僕たち3年生を支えてくれて、本当にありがとうございました。」

体育大会後も、日常生活を大切に、仲間を大切にして高め合ってきたから、この「安心」し合える「温かい」仲間関係が育っているのでしょう。

行事を点で終わらせず、線でつないでいる3年生。本当に素敵な学年集団だと感じます。

